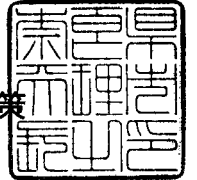


天 土 ー 第103号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

奈良県 天理市長 南 佳 策



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました件名のことに
ついて別添のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県 天理市

首都圏及び大都市部では道路網だけでなく鉄道網の発達などインフラ整備は、相応に整えられてきている。
一方、地方では中心部はそれなりに道路整備が進んでいるもののその周辺部では道路整備の遅れや未整備が目につく。
結果、中心部への出入車両による渋滞が随所で発生し 産業・経済だけでなく住民の日常生活にも深刻な影響を及ぼしている。また、中山間地方ではこうした状況が更に深刻で道路は狭小な箇所が多いうえ、災害による通行止めも多々あり緊急車両の通行もままならない状況にある。

平成21年度から道路特定財源の一般財源化が閣議決定されたが、常に全国的に道路整備率が極めて低位にある奈良県の道路予算は確保されるであろうか。地元住民にとってはどれもが必要な道路といえるのに、真に必要な道路とはどのような基準で判断されるのか。地方の自治体としては不安材料が解消されるとは考えられないと実感している。
今後も、自治体の財政状況を考慮し道路整備に見合った交付税措置も是非お願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

奈良県 天理市

○現 状

天理市は東側に国道169号線、西側に国道24号線が南北に縦貫しているが両線とも片側一車線のため朝夕のラッシュ時には慢性的な渋滞に悩まされている。

平成18年4月に開通した京奈和自動車道（大和区間）は国道24号線の渋滞緩和に寄与しているが、その延長である大和郡山市と奈良市を縦貫する大和北道路の工事と西名阪国道郡山ICとの接続が未着工であるのと高架下側道が一部区間しか開通していない。

また、大和区間のアクセス道路として天理市道53号喜殿南六条線の整備も期待が大きく同様に早期の工事完了が望まれる。

国の補助金を活用した市内中心部のバリアフリー化はほぼ完遂しつつある。また、遅滞していた都市計画道の整備も僅かではあるが進展しつつある。

名阪国道の西延長である西名阪道路は定額料金制のため天理IC～郡山IC間は僅か2.9kmであるにもかかわらず普通車で400円と割高感が否めない。そのためこの区間を天理市内の一般道へと迂回する車両が多い。これが市内の渋滞に拍車をかける要因の一つでもある。

○課 題

大和北道路については、ようやくルートが決定しただけで今後、各種調査等を経て用地買収となるが工事着手までにはかなりの年数がかかると見込まれている。

西名阪国道との接続及び高架下側道工事については、着工可能と思われる。側道供用区間が延長されれば国道24号線の渋滞は更に緩和される。

用地買収をいかにスムーズに進められるかが鍵となる。

都市計画道整備は、厳しい財政状況が進捗の妨げになりつつある。

高速道路の料金については、いろいろな意見があるがその地域の特性と実情に応じた料金体系を検討する必要がある。西名阪道路（天理IC～郡山IC）については、特に検討されることを望む。

天理市は西名阪自動車道及び東名阪国道と直結する名阪国道が東西に走り大阪と名古屋を結んでいる。その通行量は1日約6万台で、50%近くが大型トラックである。まさに名神高速道路と同様に阪神圏と中京圏を繋ぐ経済・流通の大動脈であるといえる。

今後、天理市を南北に縦貫する京奈和自動車道が西名阪自動車道と接続し、将来的に京都・奈良・和歌山間が全線開通すれば観光・物流・産業経済の発展が図れる。

更に、現在 遅滞している都市計画道が整備されれば天理市の幹線道路は市内を縦横に走ることになり、利便性・機能性はもとより市内ネットワークが向上し、市民生活の向上や土地利用の推進を図ることができる。

また、市名が示すように天理市は天理教本部のある宗教都市でもある。年間を通じて行われる祭典時には、日本全国から多くの信者が大型バス・マイカー等で帰参する。一時的に天理教本部のある市中心部は渋滞となるが、よりスムーズな車両移動が可能となり、より多くの信者の帰参が見込まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

奈良県 天理市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
広域幹線道路の整備	京奈和自動車道の整備	都市機能の向上、交通の円滑化、輸送力の増強 観光客の集客	
幹線道路の整備	都市計画道の整備	各種開発計画との整合性、土地の有効利用 地域の活性化、渋滞緩和	
歩行者空間の整備	バリアフリー化事業	高齢者・障害者への交通安全対策 安全性・快適性の確保 うるおいのある歩行者空間の形成	